

# 次号予告と今後のご案内

## 2018年7月号 vol.4 no.2

### 特集1

#### がん治療に伴う危険な、皮膚障害の 診かたと考えかた

企画：宇原 久（札幌医科大学附属病院 皮膚科）

分子標的薬の登場以降、頻繁に遭遇するようになった副作用としての皮膚障害。しかし、臨床での実際の所見は皮膚科専門医でなければその鑑別と判断に苦慮することもしばしば……。そこで、本誌では、CTCAE Gradeにも言及しつつ、読んで使える、見て使える皮膚科専門医による「危険な、皮膚障害の診かたと考えかた」を紹介します！

### 特集2

#### 上手な予測と予防策で快適な治療を実現しよう 先回り式抗がん薬副作用対策トリビア

企画・監修：石黒 洋（国際医療福祉大学 腫瘍内科）

後藤知之（滋賀県立総合病院 消化器内科／化学療法部）

副作用対策に関する研究は世界中で数多く行なわれ、ユニークな着眼点からエビデンスや研究結果が報告されています。日々実践されるルーティンとしての副作用対策だけでなく、こうした研究結果も臨床現場で応用することで、減量や投薬中止とはまた違った、「予測して予防する」副作用対策の可能性が浮かび上がってきます。本特集では、副作用対策としての効果のエビデンスがあるトリビアな副作用対策を紹介します。

## 2018年10月号 vol.4 no.3

### 特集

#### 目標設定と予防的介入からみた 進行・再発がんのトータルケア

企画：大島和也（大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科））

天羽健太郎（聖路加国際病院 整形外科 足の外科診療担当）

必ずしも「Cure」を目指すことができるわけではない進行・再発がんに対するケアは、がんに関わる医療者にとって極めて大きな課題です。本企画では、目標設定と予防的介入をキーワードに、患者の希望に寄り添った医療を実現するためのチームビルディングのほか、骨転移、むくみ、しびれなど、重要な臨床症状への対応を実践形式でまとめます。

### カンファレンス取材のお願い

あなたの施設のカンファレンスを『Cancer Board Square』に掲載しませんか？  
本誌では、がんに関わるカンファレンスの取材先を募集しております。

- ・ Cancer Board
- ・ 診療科横断型のグランドカンファレンス
- ・ Death Conference
- ・ CPC
- ・ ナースによる振り返りカンファレンス
- ・ 若手の症例検討会

など、公開可能な活発なディスカッションの場がございましたら、編集室までぜひご連絡ください。

03-3817-5714（編集室直通）  
cbs@igaku-shoin.co.jp

\*これら特集テーマについては変更の可能性がありますをご了承ください。